

第9回西新宿地区再整備検討委員会の主な意見と対応

資料5

●都市空間

No	意見	発言者	対応
1	ラボについて、2030年になっても目新しさがあるのか疑問であり、実際に何が見られるのかが見えない。例えば学生が何かを企画して、オーディション方式で企業が支援するといった仕組み、新しい技術開発の可能性といったことも考えられる。	池邊委員	ラボの考え方については、資料11で整理を行った。 なお、ラボの具体的内容については、各個別事業の具体化に合わせて、深度化していくこととし、実験的な取組を通じて得られる効果や課題等を踏まえながら検討を進めていく。
2	壁面後退について、今の検討内容は再整備方針表紙の「将来イメージ」とは大きく違うように感じる。断面は新宿住友ビルの大屋根空間のような印象で、外部ににぎわいが表出しないのではないか。考え方と断面が整合するように検討されたい。西新宿テラス、アーバンロビーとの関係を想定しながら断面を検討されたい。	伊藤副会長	4号街路沿道において、道路空間、西新宿テラス、西新宿アーバンロビーの関係を想定し、再整備の方向性について資料8,11で整理した。
3	再整備方針のイラストの中にも都市模型の絵を追加してもらったが、まちづくりに参加する事で市民が都政に関わり、チャレンジする事がラボで展開されると良い。	伊藤副会長	ラボの考え方については、資料11で整理を行った。 また、誰もがまちづくりに参加できるまちを目指して、道路・沿道一体の取組方針を記載した。

●都市基盤

No	意見	発言者	対応
4	立体結節空間について、様々なモビリティが想定される中で、どう階層差を解消していくのか。人だけを想定していたが、モビリティにも影響すると感じた。	伊藤副会長	モビリティについては、原則、道路上を回遊することを想定しているが、導入が想定されるモビリティの規格や種類等も踏まえながら、立体結節空間の検討を具体化していく。

●都庁関係

No	意見	発言者	対応
5	都庁があり、日本一の乗降客数を誇る新宿駅を利用するインバウンドに対して何を見せたいのか。都庁に来る人々に対するウェルカム感、もてなす空間がない。	池邊委員	4号街路沿いは、「都庁の玄関口として人々を迎え、まちの賑わいと一体化する西新宿テラス」を基本計画とし、4号街路を歩く人を自然と誘導し、都民広場へと迎え入れるスロープなどの整備を検討している。
6	ふれあいモールは。せつかく空間があるのであれば待合場所などに使えるようにした方が良い。	池邊委員	ふれあいモールは、「憩い、くつろぎながら思い思いに時間を過ごせるウェルビーイングが高まる空間」を基本計画とし、待合場所などに使える設えを含め、具体的な整備内容を検討・調整していく。
7	都庁周辺の空間再編について、盛りだくさんになっているが、コンセプトの要素と空間がどう対応しているかが分かりやすいと良い。	伊藤副会長	「都庁周辺の空間再編計画」(本編)のゾーニングの考え方で、コンセプトの要素とアーバンロビーや西新宿テラスなどの空間を示しました。
8	11号街路はシティホールのプロムナードとして考えることもできるだろう。都庁がまずは先頭きっていると、ここにしかないデジタルや緑、マネジメントの仕組みがあると良い。	岸井会長	11号街路下は、「文化・活動などを発信・受信し、挑戦ができるラボストリート」を基本計画として、関係者間で具体的な整備内容を検討・調整していく。また、情報発信内容についても検討を行っていく。

●その他

No	意見	発言者	対応
9	丸の内ではない新宿らしいエリアマネジメントについて何か提案はないのか。	池邊委員	地元まちづくり団体である、一般社団法人西新宿エリア環境改善委員会は、建替えによらないエリア価値向上にチャレンジしており、既存ストックを活用した官民オープンスペースの空間を改善し、その上にデジタルを含む都市サービスを加えることにより、人々の滞在や回遊を促し、新しいライフスタイルの創造を実現していくことを目標としている。 これまでの社会実験等で得た知見により、アジャイル型で段階的にエリア価値向上を実現するアプローチを実践している。 『新宿らしいエリアマネジメント』について、官民連携して検討の深度化を図っていく。
10	文化について、東京は参勤交代によって全国から様々な文化が集まった。独自の文化を見せる戦略や仕掛けも検討してはどうか。デジタルサイネージで何を見せるのかも不透明である。	池邊委員	デジタルサイネージについては、まちの魅力、まちづくり情報、エリアマネジメント活動、災害情報などを機動的かつ効果的に発信していくことを検討している。
11	防災時に4号街路や各広場がどのように機能するのも検討する必要があるのでは。	池邊委員	街路は、災害時の避難・救援路などの防災機能を有しており、その役割を果たすよう再編計画を検討していく。 また、西新宿超高層ビル地区は広域避難場所に位置付けられており、公開空地の再編計画を検討する際は、防災面に留意しながら検討を深度化していく。
12	様々実施されている実証実験等ではデータを取りながら進めると良いと感じた。多様な関係者の中でタクティカルに進めるためには、データをとりながら次に生かしていくといった進め方が良いと思う。	国土交通省 都市局 都市計画調査室長	実証実験で得たデータを踏まえ、都庁周辺の空間再編に関する在り方や道路空間の再編検討を行ってきた。今後も、社会実験で得たデータを道路の整備内容や利活用の検討に生かしていく。